

# 第1回 「公民館まつり」開催!

# ふれあい 第122号



2月16日・17日の2日間で行われた「第1回公民館まつり」。ご来場ありとうございました。公民館を利用してのサークルや講座生、町で活躍しているボランティアの方が集まり、作品の展示・実演・体験や模擬店など参加・体験型のお祭りとなりました。また、講座生企画運営の昭和30年代をモチーフにした会場では、来場者の方に各会場全部回ると駄菓子をプレゼントするなどのイベントも行いました。



「公民館まつり」は、体験や実演を多く取り入れ、文化祭とはひと味違った催しとなり、参加された各サークルが創意工夫し、それぞれの活動をアピールできる場となったのではないかと思います。次回も皆さんのご意見やアイデアをさらに活用し、多くの方のご協力をいただきながら、開催していきたいと思えます。



2月1日、下都賀地区ふれあいネットワーク事業として実施した「ボランティアアメッセ」。町内・下都賀地区のボランティアと学校の先生をつなぐと題し、多くの方が参加されました。それぞれのボランティア活動を学校で行うにはどのような形があるのか、直接先生と交流することにより、相互理解を深めるよい機会となりました。

町公民館を  
会場に  
「ボランティアアメッセ」  
(見本市)

## 退任あいさつ

町の機構改革により、3月末で公民館長を辞しましたので一言ご挨拶申し上げます。在中には公民館を舞台に多くの方々との素晴らしい出会い、ふれあいがありました。ご協力いただきました分館の役員の皆様をはじめ、町民の皆様方のご支援によりこの時を迎えられましたことを心より感謝申し上げます。今後、公民館長は町職員が兼務しますが、今まで以上に協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。公民館が「みんなの公民館」として、さらに町民に開かれ発展することを祈りし、お別れの言葉といたします。ありがとうございました。

前公民館長 真瀬 宏子

分館から

友 沼

高齢者学級



春の日ざしに包まれた2月20日に分館恒例の「高齢者学級」が開催されました。本年も講演が始まりました。講師の先生のざっくばらんな話し方に引き込まれながら、高齢者として、それぞれの役割や老いても自分らしく生きる姿こそ、社会・家庭にも大切であるとの話にますます目標を持ち、元気でいることの大事さを教えていただきました。

また、米寿今回は大正9年生まれを迎えられた方が8名おられ、足元もしっかりと、元気に祝福を受けていました。

午後は芸能大会となり、日頃の練習の成果を披露しました。毎年のように参加される方も多く、年々若くなつていく姿を見ていると、充実した日々を送られていることが感じられます。今回は、小学校の恩師との競演という感動的一幕もあり、時の流れの早さも感じつつ、楽しい一日が流れていきました。



新橋「いきいきライフ」の集い

2月24日(日)、昨日の春一番の名残りで強風が吹き荒れ、寒さも一段と厳しい朝でしたが、元気な笑顔が次々と集まってきました。分館の恒例行事である



「いきいきライフ」の集い(ウォーキング)の「コマ」です。

「ふれあい交流と健康増進」を目的に毎月実施していて、会話を楽しみながらのウォーキングとともに、季節ごとの自然を楽しんでいます。

今回は、新橋小 栃木銀行 生協 星宮神社 潤島 エニスホール 用水路 新橋小」のコースでしたが、健脚ぞろいの参加者には若干物足りない様子でした。

ゴールイン後は、お茶を飲みながらの談笑で盛り上がり、至福のひとつときとなっています。皆さんもぜひ参加してみませんか。毎月「分館だより」で詳しくお知らせしています。

【おしらせ】

4月1日から公民館の利用時間が下記のように変わります。

9:00 ~ 11:00	11:00 ~ 13:00
13:00 ~ 15:00	15:00 ~ 17:00
18:00 ~ 20:00	20:00 ~ 22:00

利用時間には入退室(準備・片づけ)を含みますので、ご注意ください。



パソコン・サロン開催中

ボランティアによる初心者を対象としたパソコン相談室を開催しています。

毎月 第2木曜日 13:00~16:00  
第3土曜日 9:30~11:30  
町公民館 2階 第4研修室

入退室自由で、事前の申込の必要はありません。



写団野木会長

小林 茂さん

- 【小林さんの最近の主な受賞作品】
- ・平成16年 第6回広域連携フォトコンテスト(小山地区) 「夜明けの松原大橋」 最優秀賞
  - ・平成17年 第7回広域連携フォトコンテスト(小山地区) 「朝光」 最優秀賞
  - ・平成18年 2006渡良瀬遊水地フォトコンテスト 「春の烏宿」 野木町長賞
- その他多数

昭和3年宇都宮市の北隣り豊郷村の農家の三男として生まれ育ちました。昭和18年に旧国鉄に就職したものの大病を患い依願退職。その後、紆余曲折の厳しい時を経て、平成6年まで、何とか勤められたことは、何より幸せだったと思います。年老いて何の趣味も持っていないと早く老化が進むとか。その老化防止のため、老後はカメラをやるうと前々から考えていたので、当時新発売された「ニコンF801」を購入し、写団野木に入会。今は会長として愛機と共に野や山にと結構楽しんで撮り続けています。



「夜明けの松原大橋」

サークル 紹介

アンサンブル

Prism (プリズム)



「ピアノになって子どもの使う楽器じゃないの!？」というイメージをお持ちのあなた、ぜひ一度ピアノに触れてみてください。あの音色が、童謡・クラシック・ジャズなどどんな曲にもマッチして、とても味わい深いピアノカワールドを展開するのです。ピアノやサクソフ、ギターとのコラボレーションも行っていきます。昨年の一月に発足以来、現在30代〜70代の男女が、楽しく充実した時間を共有中です。興味のある方はぜひ見学にいらしてください。お待ちしております。

練習日 土曜日(月3回程度)

13時〜17時・18時〜21時

町公民館

連絡先 内田潤子 ☎(57)2580

津軽三味線

市川喜英由会

喜英由会は、津軽三味線の音色に魅かれた仲間と共に昭和55年に発足しました。現在は町内はもとより近隣地域のイベント参加、またボランティア活動など活動の輪を広げています。三味線は「難しい」と思われていますが、決してそうではありません。老若男女どなたにでもできるものです。私たちは三味線を楽しみながら学び、後輩に継承しようと頑張っています。

皆さんもぜひ、日本の代表的な楽器である「三味線」に挑戦してみませんか。楽器の貸出・体験もいたします。

練習日 毎週第1、2、3、4

水・木曜日

18時〜町公民館

日時等相談にじます

連絡先 須田由雄 ☎(55)1567





# 歴史の散歩道



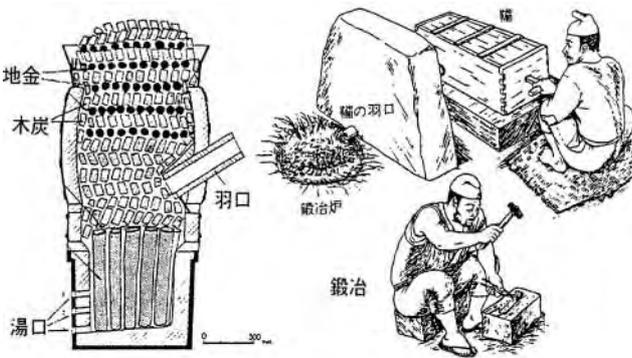
## 第6回 清六 遺跡【古代】

「歴史の散歩道」と題しまして、野木町の歴史紹介をこのページで特集していきます。読者の皆さんといっしょに、楽しみながら、野木町の生い立ちを知ってきたいと思います。

なお、この記事は、野木町郷土史研究会のご協力をえて、寄稿していただいたものです。



土器焼成遺構



溶解炉と鍛冶

古代の遺構として住居跡26軒・土器焼成遺構2基・土杭跡1基が確認されました。古墳時代の住居は147軒あったので、古墳時代の集落は何らかの理由で滅び、新たに小集落ができたものと考えられます。

住居跡にはカマドが北もしくは東の壁に作られていたようです。また、カマドのたきぐちには白色粘土を固めた支柱や川原石を補強材に利用していました。

住居跡内からは鉄製品の破片や鉄滓・鑄型・溶解炉の炉壁内面に青銅が付着している(羽口(空気を送るパイプ)が出土しています。これらの出土品から鍛冶工房のできた時代は「将門の乱」があった西暦939年ごろと思われる。

土器焼成遺構は直径が2・45mと0・9mの円形で、遺構から杯・高台付杯・高杯や土師器の破片などが出土しています。

大きい方の土器焼成遺構から出土した高杯は灰白色で、杯部と脚部は別々に成型して接合したものです。しかも住居跡からは全く発見されていないので、他の地域に供給するために作られた物のようです。

この集落跡からは、灰釉陶器・須恵器・土師器・紡錘車・鉄製品・製鉄関係遺物が出土しました。

灰釉陶器の皿には外側の底に「今」の文字が朱で書かれています。また、杯には「川前」と書かれた物や、「玉」などと墨で書かれた物がありました。

紡錘車(糸をつむぐ道具)の軸が鉄製の物や、隅丸三角形の鉄製紡錘車なども出土しました。

これらの遺構や出土品から、この時代の住民は、海外の進んだ文化や技術を習得した技術者を抱えた、中央に近い部族が地方に進出してきた人々と考えられます。

灰釉陶器は奈良・平安時代に植物の灰を原料にした釉を施した陶器で、瀬戸近くの猿投窯を中心に焼かれた物瀬戸陶器の初期品。(軽部重夫 記)

次回は中世を紹介します。